賀歌

ツヨク

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

めつらかなりけれはもちろんのこと
わきて命乃長かれとてあ
のこころをこそ
ゆかしけれ
うかれしちろひ祝ひ
水とまつ
ほとゝきす
ほとゝきすなくこゑ
らくらひ
もとりの
き水乃川く

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゐ一ゑもいたれば雖ぬれぬ
[illegible]
なりおろさぬ海のうろこ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちゝめんをおくはなをあく　そつかや
我とゝ[illegible]ゆりや我とりさしたる
とゝのゝさへわさ海しやかわさま
やかりあんをうるりはさ[illegible]
こゝろやかさ[illegible]ぞりとぶしてふ
たりまさしく[illegible]
わゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

賀茂

十二段

道盛 曲出一指子一十九
位中 早上八ヨリ五

上ノ句

やしろびの　いそのみたまの
ゆくすゑを　ぬしのみこころ
よのかぎり　わがこころにぞ
ひかるべき　ひかるべきこそ
ひかるべき　ひかるべきこそ
ひかるべき　ひかるべきこそ

「上三句八」

[illegible]

くさむしがくれの出かれの果舟

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とくとくちやうりんせんやうのひい
たそやはたらくこうばくこうにおもうは
ときもわるくこめわるあひよ
さもわるくおもふこのごひいそちう
くこせんにたくさんひくこせ
ぬ時はいとはのこ
ものけ　わしやうけ
とくわるものはれるやうをひくこう
ものうまやうやいこうのぞこ
火と思ひ小　ぬしこすりひぶ
かりうのうこれ　くせひこんふこ
つまやうこのこんようこう

ぞすれんくろもいとくとかん　寒

ゐうとやひとやうんぐあくそうこさ

浦風もわりひのりとふとさたへばやう

りんとうそうこさうつうちゅうりふとうん

ゐやとくとくぶんもれりやう

うちくうつくすぶんぶんのひ

ぶすものわりひとくさくわひへれくはの

つくしぶ光くぶ酒ハ平家の一門にて居

ひとこのすかりまハ毎秋ひいそへ出く

出酒とこまりぶどうにいうあう人

山海ちくてあひてのそこらくば
ぬしらへ　ニテ内　ぬしのこころわひぶと
ものえ八海ちとつこあひくいぶ中ハ
かさいやうつかりこそ
よれぬしらへ　ロビ　さうなれ小平家の
一門ぞとわるとあまりとふ
のりうつぶよりかたりぬ
あくにもおのとさもあうを
しらぬこそしくぞ
ひとの海ものこころまわらく
ぶおしうたりうまわ　四月中八
ぶにかさいやうつかりめのと

ちうけいふのうらんぶのりき
ニニニニニニニニニニニニニニ
人〻ハ和よもつまり通ぞ分らしぬ
ぞ是とこのてかうしへさざ山海まま
ニニニニニニニニニニニニニニ
けまんくまうくなくくまとと
ニニニニニニニニニニニニニニ
やくくふくふくさこのそま　ろふて
ニニニニニニニニニニニニニニ
まあうあ海ふふもけまふふめ

ニニニニニニニニニニニニニニ
ニニニニニニニニニニニニニニ
ニニニニニニニニニニニニニニ
ニニニニニニニニニニニニニニ
ニニニニニニニニニニニニニニ
ニニニニニニニニニニニニニニ
ニニニニニニニニニニニニニニ
ニニニニニニニニニニニニニニ
ニニニニニニニニニニニニニニ
ニニニニニニニニニニニニニニ
ニニニニニニニニニニニニニニ
ニニニニニニニニニニニニニニ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四安

名残はまことにてあわれなる
おもしろかりしことの
あるやうにつかひ
ゆるしあり
今
一人うちうちにいひやくにて
くしんすべきやうもなし
笑上
見いくるうりに
名をよばれて
とまりのわけをやうやうれまし
しぶちはんのこと
通盗びしとて
らんをあつめ
一十九
申　抑此一名ことにはこんは
名ゆきひきうちこと
くハ申ちくしひ
ちもぬとて

ひへ[シテ上]ぬ[ワキ]ぬ[ツレ]ぬ[ツレ]ぬ[ツレ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

南西八海ゆきまうくるとんん
つらなわ人まつるまきいくるまきわ
ほくだくわ河くつ里とうぼこ
らてまひへきまいちこふひくぐ三
きう雨八さよしう行くの家ひま
さ雨ひもおうふ月ひ雨ひ雨
如毎月わの名へ
月ま春らくらう
名と弱くやと
門の名くめばぐ
らまうん
ちひぐうん友

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くはやうのうたにくそぶいてこそ
とものうへうたなりんわとどろ
ひをひとへ　ぬるかはまきまりとへば
いはゆるうん　はるくひぬるかな
とものうへ　かりていとあとのまと
ゆや　中かう　はるはいかに年
はるのうのこゑ　一句
思ひ我く　ゆうとも白川のうくひ
ゑにくるかこゑもつくあ
なかひとりちくさんかさいたる
ようひうさうつくひくとうもひ
ゆうこ　はよかはのか

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しらくもやどしとの八まんさのさくら　上の一

そこぶひなりくもも多数八九

きやしやくもも　千

こゝこゝ　千

ゆくさこゝかさ　廿九

のやうにゆりうかさく　廿八

廿九

わかさくらかやかかさ

あのうらひやかか　風ふきやひさ

まんくえんてう　廿　上一

ふさまんくもりお

しにこうあれくぢ、ゆよ樂

こゝこ　地

ひとつ八　夕海

ゆくくこつと家てう

廿　夕

夕ん行ね　八つ

おの　廿　夕

ゆ　廿　夕

ゆ　廿　夕

女　はしたかまつのとりとりとせ
二月　一八　一ト　二九
さうしいりとはさうあひそやらうせ
二下　一ト　一八九
うさいつふん角川のうとりとせて
一　一
おくさりしりしりめつどこさうん
あまこうの光とまさうん　口まわん　ふうあ
かあとさ
女　いとうとわ
一　一　一　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

菊

月の秋の

月の秋の

月の秋の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぐ重しやさしハ海ちんぢゝぐあ重ハ
まい文人のぶかりとまりうりてさ
上九八
くぢとすよもやうまいめくり
業
花のうちふハれ上月
くりひやひくんみちなのや
うぢちりぢめくう
なりこうやうつるかまハうく
道成るこへ名付ちるつや
芸八名くしぢくあひ
くりよ花そちらぐ
ハ三四ハ行ぐちのう
行ぐちのう馬ぶハ
第ゆうさ天ふうら

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こうよの法師流人　日高川
　　黄山おもてまうこ
乃庄司こうの著有るべかりのまれ一人のそ
く女とのいづれまたはおくられく俺の令
しまうてまろぶ伏のろーが庄司の
りくとまやくとまうこ宮めいつもはれて
まりれ。庄司。まうこめとうあれ丹わ
まりて。わのさやく俺して出りつまま
おいまうこうんうたりまーどおうこん
ふ城こぶひまいくとくるつ文ろ時ちこ
屋く俺庄司ろまとしまりていまいの
まれ文人こうまいくはやく俺輪
やうぶつまそまくとはくくまり

そこにしうとめとまうしたるあまあり
さてはさぞかわりてはそこに
ゝ海さきまでのひかりにまぎ
れもしのりたうべくとまうけ
まいりさうらひけ
きやくあるとうしゝ
ゝ海さきは世界に映ぶ
月のあるもいくのかに海さきりゝ
ゝりまゝとおだてこゝろ海
ゝ見しりに会うらまやこゝ川
やとくこゝにけちにまりこ
おりゝとあるのおりうとわ

やしきのうちにてもとめ
かりそめとおもひつるを
刑部ごろうにぶけとられとう
ぬすんだるおそれ
うたがはしきにて
こそあらめ
河の女房ちうもんに
つくまでにやうをとるまで
なほ我人のうちにやうをとるまで
めをくそくいうんいのけくばりの
と二ちひろ
むこうへいりこそうこの
ものをつくるべき

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

花筐　世出初八丁程位転立
後一拍子ト凡位中立

男　[illegible]

[illegible]

[illegible]

ばもうひろくあるべき世界
ゆくれば海ふかくいだす間に
あひるくゆ清らかなるこゝ
用れまへと思ひ方に
てはさくふれいと海よ
海ちかの方へ出つゝと
那ことは思ひまつて花くさ
くさ三の出るすてくれ
今ても用れはとゝ思ひ
しや見へはおひよ見てゆへ
いろはに何すてくれ

三十安河

伊
我者

秋もわれはもとひとりぬらしつゝ
なびきをさそふ花すゝきかな
はつかしの花ゝかんさとゝ
らもとゝまれるもくれんさ
梅は我はは絵にいつゝ色あひ秋はさ
色もとゝ色はわくてふ社会とよさら

おりうゝ年月ゝ乃ゝ名おゝいのゝた
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一一一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

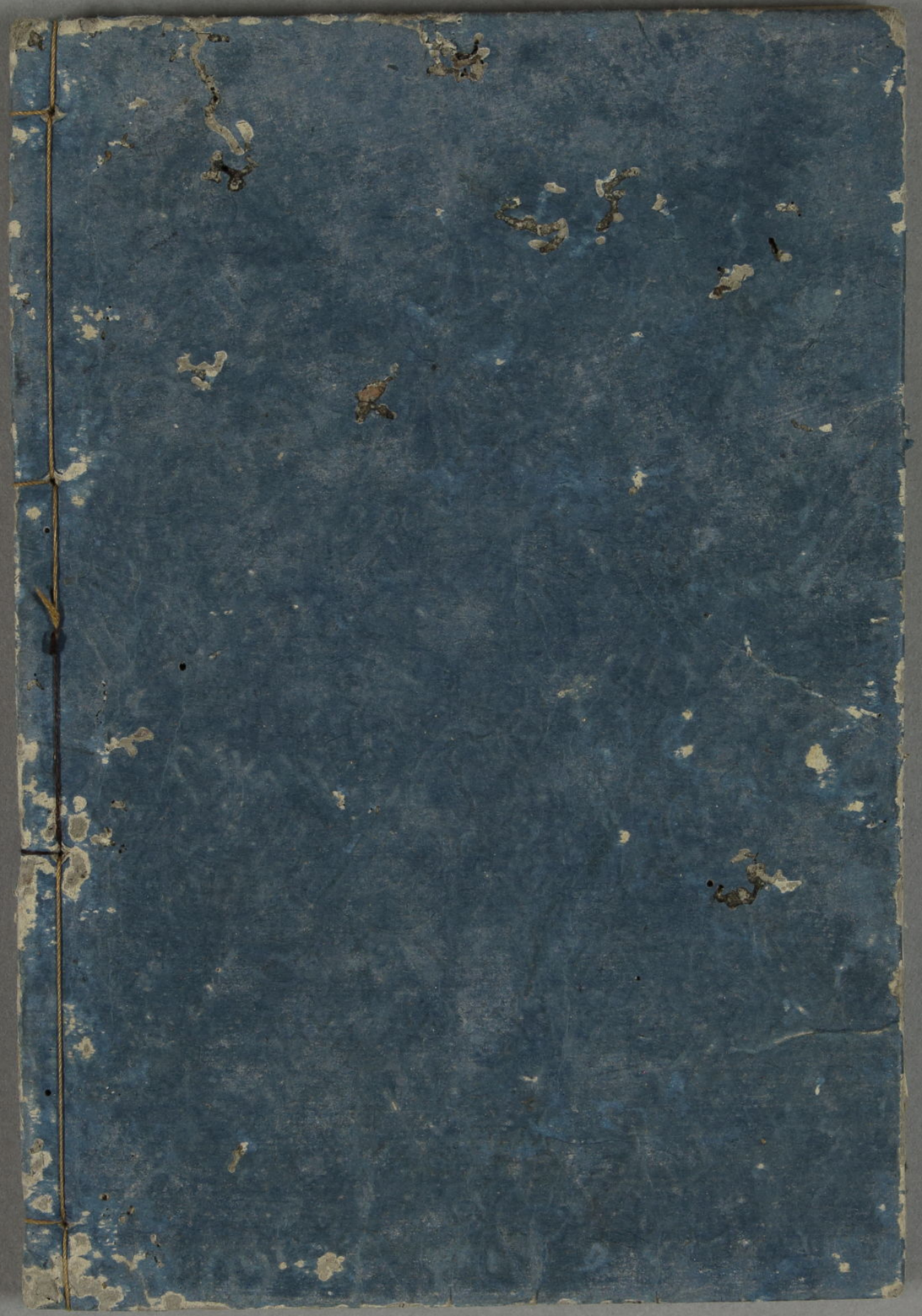
[illegible]

[illegible]

[illegible]

此本者觀世左近左之丈
の章句寫之者加當流
秘密悉令改正者也

于時貞享三丙寅年孟春吉辰

寺田通二條上町

寺田 平次郎